

南大東島地方気象台長からのメッセージ

南大東島地方気象台のホームページをご利用頂きありがとうございます。

今回は、まず南大東村、北大東村での防災気象講演会や学校防災の取り組みを紹介します。

当気象台では、毎年、南大東村役場、北大東村役場とそれぞれ共催で、両村にて防災気象講演会を開催しており、今年も10月23日に南大東村（写真1）で、11月8日には北大東村（写真2）で開催しました。

南大東村の講演会は、地震津波をテーマに沖縄気象台神谷地震火山課長を講師に招き開催、北大東村の講演会では、風水害をテーマに当台渡口観測予報管理官を講師に開催、さらに各講演会では各村の防災担当者からそれぞれの防災体制についての紹介も行って頂きました。

今回、南大東村でテーマとした地震津波については、大東島地方では地震が少ないことから、当初住民の皆さんの関心が薄いのでは、と案じていましたが、実際には昨年以上の多くの参加者を集め、意見交換でも南大東村で想定される最大震度での被害や津波予報時の漁船避難について等、様々な質問があり関心の高さを感じました。



（写真1）H30 南大東村防災気象講演会



（写真2）H30 北大東村防災気象講演会

また、南大東小中学校、北大東小中学校に協力して、それぞれ当気象台から職員を派遣し、小学生向けにお天気教室、中学生向けには防災授業を行いました。写真3は9月27日に行った南大東中学校での防災授業、写真4は11月9日に行った北大東小中学校でのお天気教室の様子です。

今年のお天気教室では、ダジックアースと呼ばれる半球上のスクリーンを利用したプレゼンを行う等、工夫を凝らし、立体的に映し出される映像に子供たちが目を輝かせて食い入る様子が印象的でした。気象の知識や防災意識の向上に役立つことは言うまでもありませんが、ぜひこの中から将来気象庁職員が出てくれればと、思うところです。



(写真3) 防災授業 (南大東中学校)



(写真4) お天気教室 (北大東小学校)

11月5日は津波防災の日です。この日、南大東村と北大東小中学校で津波避難訓練が行われ、11月7日には南大東小中学校でも津波避難訓練が行われました。津波はいつ発生するかわかりません。日頃の備えと訓練が重要ということで児童生徒の他、大勢の地域住民の皆様も参加しました。気象台も南大東村と南大東小中学校での訓練では地震・津波防災に関するミニ出前講座などを行い、津波警報等が発表された場合の対応等を説明しました。



(写真5) 南大東津波避難訓練 (南大東漁港)



(写真6) 南大東小中学校津波避難訓練

次に話題は変わりますが当気象台ならではのお話です。南大東村内では、年間数々の祭事やイベントが行われます。その一つが9月22～23日に行われた五穀豊穰を祈願する「豊年祭」です。22日の宵祭では神輿・山車が村内を練り歩き、今年も気象台にもやって来ました。大東島の基幹作物であるサトウキビの出来は、天候に大きく左右されます。そこで毎年、神輿・山車を当気象台で迎え雨と日照を祈願しています。このような気象台は全国でもここだけだと思います。



(写真7) 気象台にやって来た綺麗に飾付された山車



(写真8) 神輿に乗せられた台長

このように当气象台では地元の行事にも参加する等、住民の皆さんとの交流も大切にしつつ、関係機関と連携し、住民の皆さんの安心・安全に資するための取り組みを進めており、今後も継続し地域防災に貢献していきたいと思えます。

これからの季節は、大陸からの高気圧が周期的に張り出し、冷たく乾燥した空気が強い北風となって吹いてきます。また、海上ではしけとなり、船舶の航行などに影響を与えたりします。

強風や高波、空気の乾燥などを予想した場合には、注意報を発表し注意を呼びかけますので、气象台からの注意報や警報、気象情報などには留意をお願いします。

平成 30 年 11 月 21 日

南大東島地方气象台長 安齊 良悦